

## 川尻・安浦地区包括居宅交流会（H29年2月8日）

地域包括ケア推進が叫ばれている中、この度、初めて川尻・安浦地区の地域包括支援センターと居宅介護支援事業所に声をかけさせて頂き、交流会を開催しました。多くの介護支援専門員さんが参加され、多くの意見を頂き、誠にありがとうございました。その中で簡単ではありますが、参加者から頂いたご意見をまとめさせていただきます。

### 【居宅交流会での意見】

Q、地域の困っていること、要望がありますか？

- ・独居の見守り相談をよく受ける。徘徊する人の見守りの解決策がないか。
- ・介護タクシーの事業所が少ない。道路が狭い。
- ・独居の夜間の見守りがあれば良い。
- ・認定を受けていない元気な方にも見守りが欲しい。地域のケアマネで出来ないか？デイサービスの送迎なども利用できないか？と思うことがあります。
- ・認知症サポーターの養成はされているが、そこからのまとめ役になる人がいない。まとめ役になる人を作り、もっと活用できないか。
- ・民生委員は担当地区のお年寄りや子供などの情報をもらって活動をしているので、そういう情報が地域情報として共有化出来たら良い。
- ・小規模の事業所などは、独自でイベントを企画するのが難しいので、他の事業所と一緒にイベントを行えないか。
- ・送迎などもそれぞれ事業所が迎えに行っているが、担当の事業所を決め、各事業所に送り届ければ効率的ではないか。
- ・特浴など大きな設備投資ができない事業所が特浴のある事業所のお風呂を使えるようにならないか。
- ・今後は高齢者だけでなく、障害者も含めた交流会ができれば良い。

参加者より、「次回も参加したい」、「包括・居宅だけでなく、他職種にも声をかけてみては？」という意見もありました。この度、第1回は地域包括ケア推進には欠かせない介護支援専門員からの意見を頂き、次回に繋げていけたらと思います。

今回の交流会を参考に、今後の活動や面白い企画をしていきたいと思います。3月には「地域包括ケアシステムを樹立する会」を開催していきます。



ケアビレッジたつき 外部コーディネーター  
担当 徳田・甲角・竹内